

平成 31 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

外国語（日本語）

（100 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 課題文 1 を読み、以下の問 1～3 に答えなさい。

問 1 傍線部 1 について、「授業中に居眠りをしていたという行為そのものは変わらない」にもかかわらず、教師の対応が変わった理由についてどのように説明されているか。文中の言葉を用いて 40 字以内で説明しなさい。

問 2 課題文 1 中の（A）～（D）に該当する言葉の組み合わせは次の①～⑤のうち、どれか。最も適切な選択肢を 1 つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|
| ① | （A）能動的 | （B）能動的 | （C）受動的 | （D）能動的 |
| ② | （A）受動的 | （B）受動的 | （C）能動的 | （D）受動的 |
| ③ | （A）能動的 | （B）受動的 | （C）能動的 | （D）能動的 |
| ④ | （A）受動的 | （B）能動的 | （C）受動的 | （D）受動的 |
| ⑤ | （A）能動的 | （B）能動的 | （C）受動的 | （D）受動的 |

問 3 傍線部 2 はどのような意味か。本文中の言葉を用いて簡潔に説明しなさい。

問題 2 課題文 2 を読み、以下の問 1～3 に答えなさい。

問 1 課題文 2 中の（A）と（B）内に入る用語を答えなさい。

問 2 傍線部①「氏か育ちか」という論争とは何か。著者の考えを 80 字以内で記述しなさい。

問 3 傍線部②離乳の年齢とストレスの関係に関する規則性とは何か。40 字以内で記述しなさい。

國分功一郎 『中動態の世界：意志と責任の考古学』 医学書院、二〇一七年、二四～二六頁
(本文中の見出しは省略した。)

ベリンダ・ロビン 菅原千賀子(訳)『文化的営みとしての発達：個人、世代、コミュニティ』新
曜社、二〇〇六年、七七～七九頁 (本文中の見出しは省略した。)